



## 第25回常任理事会

**日時** 令和5年3月7日(火) 18:00～18:39  
**場所** 北海道医師会館・9階理事会室  
**出席者** 松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、三戸・目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・生駒・笹本・青木・荒木・長谷部・菅田・高橋・寺本各常任理事、藤瀬・梶・阿久津各監事、長瀬顧問  
 (事務局：本田事務局長ほか13名)

### 協議事項

#### 第1号 社会保険診療報酬支払基金北海道審査委員会委員の推薦に関する件(伊藤常任理事)

現審査委員が5月末日で任期満了となることから、診療担当者代表の審査委員50名の推薦依頼があり、従来通り内科、外科は現審査委員の選出郡市医師会に、他科は各専門医会に人選を依頼することと決定。

#### 第2号 日本医師会生涯教育講座の認定に関する件(高橋常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座4件を承認することと決定。

#### 第3号 職制の一部改正および職員の人事異動に関する件(局長人事：松家会長、職制および職員人事：目黒常任理事)

事務局長を6月末まで再雇用すること、令和5年度より円滑な運営を図るため事業課を5課から3課に集約する職制の一部改正案と、これに伴う4月1日付けの事務局人事案についても承認し、4月15日(土)開催予定の第1回理事会に諮ることと決定。

#### 第4号 その他

##### (1) マスク着用等の考え方等に関する件(目黒常任理事)

3月13日以降の対応について、会議等の室内での長時間会合や、効果的な場面でのマスク着用を推奨することとし、会議や研修会等での感染対策についても要請から推奨へ表現を改めることと決定。

### 報告事項

#### 1. 母子保健講習会 [2月12日(日)] について(三戸常任理事)

「母子保健におけるメンタルヘルス、こころの問題」をテーマに開催した。シンポジウムでは本テーマに沿って5名の講師による講演が行われ、その後の討議では、シンポジストと参加者間で質疑応答が行われた。

#### 2. 医療事故防止研修会 [2月26日(日)] について(長谷部常任理事)

全国で発生している予期せぬ死亡事故に関して、一般財団法人Ai情報センター・山本正二代表理事より、Aiを行うことの意義から普及に向けた提言、重要性を講演された。また、社会医療法人禎心会札幌禎心会病院・長谷守副院長より、医療事故調査委員会の外部委員として、その現状と対応策や解決へのプロセスについて、具体的な事例を交えながら解説があった。本研修会は日本専門医機構専門医共通講習の医療安全2単位として開催した。参加者は医師や看護師等39名であった。

#### 3. 北海道がん検診従事者講習会マンモグラフィ読影更新講習会 [3月4日(土)・5日(日)] について(笹本常任理事)

日本乳がん検診精度管理中央機構との共催で、マンモグラフィ読影力の維持・向上を目的に実施している講習会を、新型コロナウイルス感染症の影響により4年ぶりに開催した。今年度は希望者の多い更新講習会について、事前オンライン講義を取り入れ3組に分けて行った。受講者は合計129名であった。

#### 4. 医療機関における働き方改革実践事例報告セミナー [3月5日(日)・Web併用] について(長谷部常任理事)

医師の働き方改革や医療スタッフの働きやすい職場づくりに関する好事例を学び、自施設の取組みに役立てることを目的に開催した。「宿日直許可申請の課題と許可取得」をテーマに、KKR札幌医療センター・磯部宏院長の講演のほか、「看護職の人材定着」をテーマに、社会医療法人ピエタ会石狩病院・石川奈緒看護係長から講演があった。その後、質疑応答を含め意見交換を行った。参加者は121名(会場32名、Web89名)であった。

#### 5. 中央情勢報告

##### 「第163回臨時時代議員会 議案第2号『当面の医療政策に関する件』」について(荒木常任理事)

小職から、取りあげるべき喫緊の課題についての概要、配付資料について説明した。

## 第27回常任理事会

**日時** 令和5年3月28日(火) 18:00～19:44  
**場所** 北海道医師会館・9階理事会室

**出席者** 松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、三戸・目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・生駒・笹本・青木・荒木・長谷部・菅田・高橋・寺本各常任理事、藤瀬・梶・阿久津各監事、長瀬顧問

(事務局：本田事務局長ほか13名)

## 協議事項

### 第1号 母体保護法指定医師の指定に関する件

(目黒常任理事)

持ち回りの審査委員会において指定可とされた勤務先変更による再申請者2名を指定することと決定。

### 第2号 日本医師会生涯教育講座の認定に関する件

(高橋常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座3件を承認することと決定。

### 第3号 北海道医師会職制の一部改正、職員給与規程の一部改正、職員給与規程別表の一部改正、職員給与規程運用内規の一部改正に関する件

(目黒常任理事)

4月1日付けの事務局組織改編等に必要な諸規程の改正について承認し、4月15日(土)開催予定の第1回理事会に諮ることと決定。

### 第4号 その他

(1) 4月行事予定に関する件(事務局)

## 報告事項

### 1. 産業保健各種研修会〔令和4年度〕について

(生駒常任理事)

産業保健研修会5か所、産業医学基礎研修会(前期・後期各1回)、コロナ禍により2年開催を中止していた産業医学実践研修会は、2回開催し、その他新規事業として、産業保健実地研修会、認定産業医Web研修会も開催した。郡市医師会に委託しているリフレッシュ研修、スキルアップ専門・実地研修は6か所で開催した。今年度の各種研修会は全19回で受講者総数は1,622名であった。

### 2. 北海道自動車保険医療連絡協議会〔3月8日(水)〕について(伊藤常任理事)

日本損害保険協会北海道支部より、医療照会のあり方や診断書の発行、ドライブレコーダーなどの事故状況を示す情報提供について話題提供があった。当会からは、日医労災・自賠責委員会での検討事項や自賠責保険に関するアンケート調査について報告した。一方的な治療の打ち切りや健保使用によるトラブル事例などについて、日本損害保険協会および損害保険料率算出機構と意見交換を行った。

### 3. 医療従事者の安全確保に関する都道府県医師会担当理事連絡協議会〔3月17日(金)〕について

(長谷部常任理事)

日医が実施した、医療従事者の安全確保に関する都道府県医師会の取り組み状況に関する調査(令和5年3月)の結果について、医事法・医療安全課よ

り報告があった。また、広島県医師会、茨城県医師会、東京都医師会、岐阜県医師会から、医療従事者の安全確保に関する取組みについて発表が行われた。参加者は72名であった。

### 4. 母子保健対策推進委員会〔3月19日(日)〕について(三戸常任理事)

当会の母子保健対策の取組みを報告したほか、北海道保育保健協議会から「北海道の保育施設におけるオミクロン株への対応」の結果報告、北海道から「3歳児健診における視覚検査(屈折検査)について」「ほっかいどうリトルベビーハンドブック」の話題提供があった。引き続き、健康診断に関する各地の現状について、各委員から地域の状況や取組みを報告していただき、意見交換を行った。

### 5. 学校保健推進委員会〔3月19日(日)〕について(三戸常任理事)

小職より、学校保健に関する関係各方面への質問・意見要望について報告後、北海道教育庁から学校保健の課題とその対応について話題提供の後、委員から脊柱側弯症検診および着衣脱衣の問題について説明があった。また、昨年11月に当会でを行った北海道におけるいじめの対応実態調査の結果について報告し、閉会した。

### 6. いじめ問題に関する勉強会〔3月19日(日)〕について(三戸常任理事)

いじめ問題について関係者間で共通認識を持つことを目的として、「いじめ問題」および「児童のこころの問題」への取組みをテーマとした勉強会を開催した。行政説明後、スクールカウンセラーの立場から北翔大学教育文化学部心理カウンセリング学科・飯田昭人教授、医師の立場から北海道大学病院児童思春期精神医学研究部門・齊藤卓弥特任教授の講演の後、意見交換を行った。参加者は学校医・学校教職員等132名であった。

### 7. 第4回勤務医部会運営委員会・第3回若手医師専門委員会〔3月21日(火・祝)〕について

(長谷部常任理事)

両委員会を合同で開催した。勤務医部会運営委員会では、小樽市医師会・和田卓郎部会長から、令和5年度に実施する地域医療の現況調査について説明があり、全体構成やスケジュール等について確認した。若手医師専門委員会では、北海道大学・佐藤峰嘉委員長から、活動方針や取組み状況について報告があった。最後に、小職から研修医向け入会勧奨資料を紹介し、各地域での積極的な活用について案内した。

### 8. 第153回日本医師会臨時代議員会〔3月26日(日)・日医会館〕について(鈴木副会長ほか)

松本会長の挨拶の後、角田副会長から令和5年度事業計画と予算の報告があり、当会副会長・藤原財務委員長から財務委員会の結果報告があった。続いて議事に入り、常任理事4名を増員とする日本医師



会定款・諸規程一部改正が上程され可決決定した。その後、代表質問が行われ、北海道から2題提出し、当会副会長・鈴木代議員から「組織強化と加入促進のための効率化について」質問を行い、釜沼常任理事から、「入会・異動・退会の手続きのペーパーレス化については、クラウド上に会員情報システムを構築し、都道府県と郡市区の医師会員管理にも利用できるようにしたいと考えており、まず、令和5年度に郡市区医師会、都道府県医師会から意見をいただき、基本的な仕様を固めた後、令和6年度に実現化を進め、早期に運用を開始できるように取り組んでいく」との回答があった。このほか、札幌市医師会長・今代議員から「医療分野におけるサイバーセキュリティ（CS）対策について」の質問を行い、長島常任理事から「現在、日医公式YouTubeチャンネル『教えて！日医君！』で、CSの解説動画を制作中であり、完成次第ご案内する。日医ではCS支援制度を昨年6月に創設し、相談窓口を中心に3つの支援を行っている。相談窓口は、A1会員の医療機関、各医師会の事務局が無料で何度でも利用でき、さまざまなレベルの相談に対応しているので、ぜひ活用してほしい。厚生労働省の中長期的な対策では、24時間365日体制で医療機関に対する不審な通信などを監視し、サイバー攻撃を早期発見するためのセンター構築を検討することとされている。医療DXを推進するためには、CS対策は必須である。引き続き、国に対して要望を続けていく」との回答があった。

## 9. 外部各委員会報告

### (1) 北海道ドクターヘリ安全研修会〔2月24日（金）・Web会議〕について（青木常任理事）

本研修会はドクターヘリ基地病院の持ち回りで開催されており、主催の市立釧路総合病院の其田一副院長兼救命救急センター長から「ドクターヘリの安全な運用・運航について」をテーマに基調講演があった。続いて、「安全のための取組み」をテーマにフライトナース、ドクターヘリ事務局、ドクターヘリ運航会社の3者によるパネルディスカッションが行われた。ドクターヘリ運航会社からはドクターヘリの沿革、直近の出動件数や国内外の航空事故に関して発表があった。

### (2) 第2回地域医療を担う医師養成検討分科会、第4回専門医制度等検討分科会〔3月3日（金）・Web併用〕について（松家会長）

両分科会が合同で開催された。各検討委員会で報告された医師確保計画の推進状況、地域枠制度の運営状況、キャリア形成プログラムの見直し、医学部臨時定員や医師の働き方改革などの説明があった。また、北海道の研修医に係る募集定員の推移や道内の研修医と比べて専攻医の採用数が少ないことなどについて報告があった。

### (3) 第2回受動喫煙防止対策専門部会〔3月6日（月）・Web会議〕について（笹本常任理事）

令和4年度の施設等における受動喫煙防止対策の実施状況について報告後、北海道受動喫煙防止対策推進プランの進捗状況、次期計画の取扱いおよび今後のスケジュール等について説明があった。

### (4) 北海道ナースセンター事業運営委員会〔3月10日（金）〕について（水谷常任理事）

令和4年度の事業実施状況について、ナースバンク実績は求人施設数が昨年より増加しているが、求職者数は減少傾向にあるとの報告があった。また、令和5年度の事業計画（案）について協議し、多様な職場環境や柔軟な受け皿を広げるための働きかけ、キャリアを活かせる職場選択等、引き続き、プラチナナースのマッチング強化に取り組んでいくこととした。

### (5) 北海道口腔保健推進協議会〔3月13日（月）・Web会議〕について（荒木常任理事）

令和3年度の歯・口腔の健康づくりに係る施策の実施状況およびフッ化物洗口実施状況調査結果などについて報告があったほか、歯科衛生士勤務実態調査の結果について協議した。

### (6) 北海道介護実習・普及センター運営委員会〔3月14日（火）・Web会議〕について（藤原副会長）

令和3年度事業および令和4年度事業について報告後、令和5年度事業計画について協議した。また、北海道介護ロボット普及推進センターの活動について情報提供があった。

### (7) 児童生徒専門医（眼科・耳鼻咽喉科）健診推進事業打合せ会〔3月14日（火）〕について（三戸常任理事）

北海道学校保健会から令和4年度の専門医（眼科・耳鼻咽喉科）健診の実施状況、令和5年度の健診要請状況について報告があり、重点健診により行われる等、年度によって依頼市町村数にばらつきがあること、実施回数の増加を検討している自治体もあることについて説明があった。

### (8) 北海道助産師出向支援事業協議会〔3月15日（水）〕について（水谷常任理事）

令和4年度の事業報告と令和5年度の事業計画（案）について検討した。出向元施設では、研修目的・実践能力向上の意向が増加してきており、出向先施設とのニーズと合致しない傾向があるとのことであった。また、今年度の出向実績では3組がマッチング成立したとの報告があった。

### (9) 第2回北海道がん対策基金運営委員会〔3月16日（木）〕について（藤原副会長）

令和5年度事業計画（案）および予算（案）について説明後、本基金による令和5年度助成

事業として申請のあった9団体9事業について協議し、8団体8事業が採択された。

(10) 北海道感染症危機管理対策協議会 [3月20日(月)] について (三戸常任理事)

北海道における定期接種の実施状況、新型コロナウイルス感染症対策専門会議の開催状況、新型コロナウイルス感染症の5類移行および感染症法の改正について報告があった。その後、都道府県感染症予防計画の策定に関して説明があり、意見聴取が行われた。

(11) 第2回特別支援教育ファーストステッププログラム検討協議会 [3月22日(水)・Web会議] について (三戸常任理事)

経験の浅い教員の専門性向上に係る支援体制等構築研究事業について報告後、特別支援教育に関する専門性の向上のための令和5年度の取組等について協議した。

(12) 北海道公衆衛生協会第3回常任理事会 [3月23日(木)・Web会議] について (藤原副会長)

令和5年度の年間スケジュールおよび北海道公衆衛生学雑誌の投稿規定の改正について説明後、11月25日に開催される第75回北海道公衆衛生学会の準備状況について報告があった。

(13) 第2回道立学校における医療的ケア連絡協議会 [3月24日(金)・Web会議] について

(藤原副会長)

道立学校における医療的ケア実施体制整備事業や道内における医療的ケア児の在籍状況について説明後、学校における医療的ケアに関する検討会議の答申について協議した。

(14) 北海道認知症疾患医療連携協議会・担当者会議 [3月24日(金)・Web会議] について

(藤原副会長)

北海道から認知症施策について、北海道若年認知症の人と家族の会から若年性認知症総合支援事業について報告後、認知症疾患医療センターの運営事業や実績報告について、意見交換および情報共有を行った。

(15) 第2回北海道衛生検査所精度管理専門委員会 [3月27日(月)] について (伊藤常任理事)

令和4年度の衛生検査所立入検査実施状況および外部精度管理調査結果について報告があった。また、今後の衛生検査所立入検査ならびに外部精度管理調査の実施方針について説明があり、了承された。

道総医協関連事項 (鈴木副会長)

1. 地域医療専門委員会第2回在宅医療小委員会 [3月15日(水)] について (伊藤常任理事)

医療アドバイザーの派遣や在宅医療推進に係る医師等向け研修などの北海道在宅医療推進支援センターの取組、在宅医療グループ診療の運営支援や在宅医療体制支援などの令和4年度在宅医療提供体制強化事業費補助金の申請状況について報告後、次期「北海道医療計画」における在宅医療について、現行の北海道医療計画において設定している在宅医療の圏域(39地域単位)を基本として検討していくことが了承された。

2. 地域保健専門委員会第2回糖尿病対策小委員会 [3月16日(木)・Web会議] について

(寺本常任理事)

北海道における透析患者の状況および透析医療の現状、令和4年度の糖尿病対策に係る啓発事業等について報告があった。

3. 地域保健専門委員会第2回循環器疾患対策小委員会 [3月20日(月)・Web会議] について

(水谷常任理事)

北海道循環器病対策推進計画の進捗状況および令和5年度脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業について報告があったほか、第8次医療計画および第2期北海道循環器病対策推進計画の策定について協議した。

4. 第4回地域保健専門委員会 [3月23日(木)] について (藤原副会長)

北海道高度がん診療中核病院の指定更新および北海道がん診療連携指定病院の更新指定について協議した。

## 北海道医報ファイルについて

北海道医報本誌を1年分綴ることができるファイルを用意しております。

ご希望の方に無償にてお送りいたしますので、下記まで送付先ならびに希望数をご連絡ください。

記

申込先：北海道医師会事業第一課

〒060-8627 札幌市中央区大通西6丁目

TEL 011-231-7661 FAX 011-241-3090

E-mail ihou@m.dou.jp

